

IPMI I/Fのサポート情報について

1. はじめに

HA8000-bd/BD10 では、IPMI(Intelligent Platform Management Interface) Over LAN 機能を使用し、遠隔地から HA8000-bd/BD10 のハードウェア情報を監視、管理することができます。この情報をもとに管理ソフトウェアの一助にすることができます。

なお、本情報は、上記以外の目的には使用しないようにしてください。

2. 適用機種、形名

本ドキュメントの記載内容は、以下のモデルに関するものです。

HA8000-bd/BD10

3. サポートコマンド

HA8000-bd シリーズでは、IPMI Over LAN のチャンネルに対し、下表に示したコマンドをサポートします。下記以外のコマンドについても、実行可能なコマンドがありますが、システムの動作に支障を与える可能性がありますので、使用しないようにしてください。

No.	コマンド名
1	Get Device ID
2	Clear Message Flags
3	Get Message Flags
4	Get Message
5	Send Message
6	Get Channel Authentication Capabilities
7	Get Session Challenge
8	Activate Session
9	Set Session Privilege Level
10	Close Session
11	Set User Password Command
12	Get Chassis Status
13	Chassis Control
14	Get Sensor Threshold
15	Get Sensor Reading
16	Get FRU Inventory Area Info
17	Read FRU Data
18	Get SDR Repository Info
19	Reserve SDR Repository
20	Get SDR
21	Get SEL Info
22	Reserve SEL
23	Get SEL Entry
24	Get SEL Time

4. IPMI Over LAN 機能をご使用になる上での注意事項

(1) IPMI Over LAN による通信を行うためのプログラムは、ご提供致しておりませんので、ご自身で入手頂きますようお願い致します。例として、Red Hat Enterprise Linux 5 には、「OpenIPMI」と呼ばれる IPMI デバイスのドライバや管理ツールが同梱された RPM パッケージが用意されており、通信用プログラムの入手が可能です。

(2) IPMI Over LAN 機能は、UDP のプロトコルを使用して通信を行いますので、TCP のプロトコルを使用した通信に比べ信頼性は劣っています。したがって、UDP のプロトコルを使用した通信において高い信頼性が要求される場合には、上位側のプログラムで信頼性を高めるための処理を追加して頂く必要があります。

(3) IPMI Over LAN 機能は、HA8000-bd/BD10 のハードウェア情報を監視、及び管理する目的以外では使用しないようお願い致します。その他の目的で使用された場合に関しては動作保障を致しておりません。

(4) HA8000-bd シリーズでは、BMC のファームウェアが IPMI 機能を使用し、障害の監視や障害発生時のリカバリ処理などを実現しています。そのため、IPMI コマンドを繰り返し発行するなど IPMI Over LAN による処理の負荷が必要以上に高くなると、本来の BMC ファームウェアの機能に支障が生じる可能性があります。ご使用にあたっては、システムの動作に支障を与えるようなコマンドの発行や、BMC に対し高い負荷を加えるなど、ファームウェアの機能に支障を与えるような頻度で繰り返しアクセスするような処理は行なわないようお願い致します。

なお、HA8000-bd シリーズでは BMC に対する負荷を抑制する目的で、使用可能な IPMI コマンドを制限しております。

(5) IPMI Over LAN の機能を使用される場合には、セキュリティのため、Web コンソールのネットワーク設定により、接続先の IP アドレスを制限したうえで、ご使用頂くことをお勧め致します。

Web コンソールのネットワーク設定により、接続先の IP アドレスを制限する方法は、『ユーザーズガイド』「5 リモートマネジメント機能」に記載してあります。

(6) はじめて IPMI Over LAN 機能をご使用になる際は IPMI コマンド(前頁の「3. サポートコマンド」ー「No. 11、Set User Password Command」)により、パスワードの変更を実施してください。

なお、HA8000-bd は出荷状態で UserID は""(NULL)、パスワードは"*****"(非公開パスワード)が設定されております。この設定値は、本機種のシステム管理ソフトウェア(Hitachi bd Link /SV)で利用可能となっています。このソフトウェアについては、以下の URL をご参照ください。

http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/bd/products/software/link_sv/index.html